



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月24日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7965 URL http://www.zojirushi.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 真田 修 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績 (平成23年11月21日～平成24年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	47,165	3.6	2,650	△16.4	2,526	△12.3	3,654	116.7
23年11月期第3四半期	45,543	2.6	3,170	128.4	2,879	114.9	1,686	102.4

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 4,058百万円(161.8%) 23年11月期第3四半期 1,550百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	54.07	—
23年11月期第3四半期	24.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	61,878	44,087	70.5
23年11月期	64,823	40,573	61.9

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 43,623百万円 23年11月期 40,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年11月期	—	3.50	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想 (平成23年11月21日～平成24年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	3.7	3,700	0.5	3,400	6.5	4,000	108.4	59.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期3Q	72,600,000株	23年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	24年11月期3Q	5,006,793株	23年11月期	5,003,743株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期3Q	67,595,122株	23年11月期3Q	67,597,608株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方法の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 所在地別業績	10
(2) 海外売上高	10
(3) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機を背景とする世界経済の減速の影響、為替レートや原油価格の動向などへの懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、ミッキーマウス・マーチのメロディーで沸騰をお知らせするディズニーのミッキー柄を採用した電気ケトル、蒸気セーブと雑穀米メニューを搭載した小容量圧力IH炊飯ジャーなどの新製品を発売するとともに、ステンレスマグ、ステンレスクールボトルや圧力IH炊飯ジャー、IH炊飯ジャーのモデルチェンジを実施したほか、既存商品においても販売拡大に注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては羽釜形状の「極め羽釜」を内釜に採用した機種を中心に圧力IH炊飯ジャーが好調に推移したことにより、炊飯ジャー全体では売上が前年に比べて増加いたしました。また、電気ポットは市場全体の出荷数量減少などから売上が減少し、電気ケトルも販売競争激化の影響もあり、前年実績を下回りました。電気調理器具ではグリルなべやホットプレートの売上が減少したものの、オーブントースター、ホームベーカリー、ミキサーなどが好調に推移いたしました。

海外においては、中国市場では新製品として投入した圧力IH炊飯ジャーが好調に推移し、マイコン炊飯ジャーも上位モデルを中心に販売数量が増加いたしました。北米、台湾でも前年に比べて炊飯ジャーの売上が増加いたしました。また、電気ポットは台湾市場で全般的に好調に推移いたしました。その結果、調理家電製品の売上高は354億53百万円（前年同期比104.4%）となりました。

リビング製品につきましては、国内においてはステンレスマグが前年実績を上回ったものの、ステンレスクールボトルは天候不順などの影響により6月以降の出荷数量が伸び悩み、その他のステンレスボトルも概ね前年実績を下回ったこともあり、ステンレスボトル全体の売上はほぼ前年並みとなりました。また、ガラスマホービンは国内における出荷数量が減少した影響により、前年に比べて売上が減少いたしました。

海外においては、北米市場ではステンレスマグを中心にステンレスボトルは好調に推移したものの、ステンレスマホービンを使用した大型の業務用コーヒーサーバーは売上が減少いたしました。しかしながら、中国市場では販売数量が大幅に増加したステンレスマグを中心にステンレスマホービンが全般的に好調に推移し、台湾市場でもステンレスマグやフードジャーなどの販売数量が増加し前年に比べて売上が増加いたしました。その結果、リビング製品の売上高は93億59百万円（前年同期比103.3%）となりました。

生活家電製品につきましては、加湿器が市場全体の出荷数量が落ち込んだことから前年に比べて売上が減少し、空気清浄機も花粉飛散量減少の影響などもあり低調に推移いたしました。また、食器乾燥器は出荷数量が増加し、前年実績を上回りましたが、食器洗い乾燥機は売上が減少いたしました。その結果、生活家電製品の売上高は13億94百万円（前年同期比80.2%）となりました。また、その他製品の売上高は9億58百万円（前年同期比119.7%）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、471億65百万円（前年同期比103.6%）となりました。利益につきましては、売上高の増加、円高による海外生産品の原価低減効果はあったものの、国内市場における販売競争激化に伴う販売価格の下落や海外生産拠点における人件費増加の影響などによる売上総利益率の低下もあり、営業利益は26億50百万円（前年同期比83.6%）となり、経常利益は25億26百万円（前年同期比87.7%）となりました。四半期純利益は、厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことにより、36億54百万円（前年同期比216.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が29億44百万円減少し、負債が64億58百万円減少しました。また、純資産は35億13百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は8.6ポイント増加し70.5%となりました。

総資産の減少29億44百万円は、流動資産の減少12億32百万円及び固定資産の減少17億12百万円によるものであります。

流動資産の減少12億32百万円の主なものは、現金及び預金の増加18億26百万円、受取手形及び売掛金の減少32億84百万円であります。また、固定資産の減少17億12百万円の主なものは、リース資産（純額）の減少3億42百万円、繰延税金資産の減少13億39百万円であります。

負債の減少64億58百万円は、流動負債の減少26億60百万円及び固定負債の減少37億98百万円によるものであります。

流動負債の減少26億60百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少5億34百万円、未払費用の減少3億9百万円、未払法人税等の減少8億9百万円、賞与引当金の減少5億90百万円であります。また、固定負債の減少37億98百万円の主なものは、退職給付引当金の減少32億96百万円、固定負債のその他の減少5億1百万円であります。

純資産の増加35億13百万円の主なものは、四半期純利益の計上36億54百万円、剰余金の配当の支払5億6百万円、繰延ヘッジ損益の増加2億13百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では平成24年7月2日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の経済情勢、為替レートの変動などのさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

沖縄象印販売株式会社は第2四半期連結会計期間において清算したため、連結の範囲から除外しております。但し、清算終了までの損益計算書は連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(厚生年金基金の代行返上)

当社は、確定給付企業年金法に基づき、厚生年金基金の代行部分について、平成24年3月1日に厚生労働大臣から過去分返上の認可を受けました。これに伴い、当社は「退職給付会計に関する実務指針(中間報告)」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号)第44-2項を適用し、代行部分の過去分返上認可の日において、代行部分にかかる退職給付債務の消滅及びこれに伴う損益として厚生年金基金代行返上益33億48百万円を特別利益に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,593	13,420
受取手形及び売掛金	12,007	8,722
有価証券	100	—
商品及び製品	12,402	12,974
仕掛品	219	167
原材料及び貯蔵品	1,072	1,077
繰延税金資産	1,876	1,441
その他	1,792	2,028
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	41,042	39,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,337	16,291
減価償却累計額	△12,323	△12,470
建物及び構築物(純額)	4,014	3,821
機械装置及び運搬具	3,418	3,395
減価償却累計額	△2,693	△2,824
機械装置及び運搬具(純額)	725	570
工具、器具及び備品	3,526	4,111
減価償却累計額	△2,900	△3,148
工具、器具及び備品(純額)	625	962
土地	8,775	8,775
リース資産	1,543	1,018
減価償却累計額	△872	△688
リース資産(純額)	671	329
建設仮勘定	1	9
有形固定資産合計	14,814	14,467
無形固定資産		
のれん	59	33
ソフトウェア	371	334
その他	106	130
無形固定資産合計	536	498
投資その他の資産		
投資有価証券	5,658	5,656
繰延税金資産	1,698	358
その他	1,088	1,101
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	8,430	7,102
固定資産合計	23,780	22,068
資産合計	64,823	61,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,662	6,128
短期借入金	273	212
未払費用	4,179	3,870
未払法人税等	1,015	206
賞与引当金	1,049	459
その他	1,354	997
流動負債合計	14,535	11,874
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
繰延税金負債	9	9
退職給付引当金	5,545	2,249
その他	1,159	657
固定負債合計	9,714	5,916
負債合計	24,249	17,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,163
利益剰余金	34,110	37,258
自己株式	△951	△952
株主資本合計	41,344	44,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862	831
繰延ヘッジ損益	△340	△127
為替換算調整勘定	△1,737	△1,573
その他の包括利益累計額合計	△1,215	△869
少数株主持分	444	464
純資産合計	40,573	44,087
負債純資産合計	64,823	61,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月21日 至平成23年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月21日 至平成24年8月20日)
売上高	45,543	47,165
売上原価	30,453	32,449
売上総利益	15,089	14,716
販売費及び一般管理費	11,919	12,065
営業利益	3,170	2,650
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	85	87
持分法による投資利益	142	58
受取賃貸料	152	145
その他	151	133
営業外収益合計	554	453
営業外費用		
支払利息	64	53
売上割引	263	288
為替差損	446	141
その他	71	94
営業外費用合計	845	578
経常利益	2,879	2,526
特別利益		
固定資産売却益	1	4
厚生年金基金代行返上益	—	3,348
その他	6	—
特別利益合計	7	3,352
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	53	33
ゴルフ会員権評価損	0	0
減損損失	71	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
その他	7	—
特別損失合計	156	34
税金等調整前四半期純利益	2,731	5,844
法人税、住民税及び事業税	958	386
法人税等調整額	45	1,750
法人税等合計	1,003	2,136
少数株主損益調整前四半期純利益	1,727	3,707
少数株主利益	40	52
四半期純利益	1,686	3,654

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月21日 至平成23年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月21日 至平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,727	3,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△30
繰延ヘッジ損益	△36	213
為替換算調整勘定	△61	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	9
その他の包括利益合計	△177	350
四半期包括利益	1,550	4,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,528	4,001
少数株主に係る四半期包括利益	21	56

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月21日 至 平成23年8月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年8月20日)

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 所在地別業績

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月21日 至 平成23年8月20日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	37,119	5,558	2,865	45,543	—	45,543
所在地間の内部売上高 又は振替高	4,968	4,024	0	8,992	(8,992)	—
計	42,087	9,582	2,865	54,536	(8,992)	45,543
営業利益	2,073	840	131	3,045	125	3,170

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年8月20日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	37,377	6,992	2,795	47,165	—	47,165
所在地間の内部売上高 又は振替高	4,674	4,138	26	8,839	(8,839)	—
計	42,051	11,131	2,822	56,005	(8,839)	47,165
営業利益	1,292	1,315	99	2,707	(56)	2,650

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月21日 至 平成23年8月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
I 海外売上高(百万円)	6,148	2,788	127	296	103	9,464
II 連結売上高(百万円)						45,543
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.5	6.1	0.3	0.7	0.2	20.8

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年8月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
I 海外売上高(百万円)	7,749	2,719	152	379	68	11,069
II 連結売上高(百万円)						47,165
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.4	5.8	0.3	0.8	0.2	23.5

(3) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント別の生産実績及び販売実績の記載は行っておりません。

なお、生産実績及び販売実績を製品区分別に記載すると以下のとおりであります。

①生産実績

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月21日 至 平成23年8月20日)

製品区分	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	24,376	6.0
リビング製品	5,705	1.0
生活家電製品	827	△41.9
その他製品	273	67.0
合計	31,183	3.2

(注) 1. 金額は製造原価により表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年8月20日)

製品区分	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	23,221	△4.7
リビング製品	7,716	35.2
生活家電製品	795	△3.8
その他製品	297	9.1
合計	32,032	2.7

(注) 1. 金額は製造原価により表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社グループは、原則として見込生産であります。

③販売実績

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月21日 至 平成23年8月20日)

製品区分	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	33,943	0.4
リビング製品	9,061	15.5
生活家電製品	1,737	△17.0
その他製品	800	23.0
合計	45,543	2.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年8月20日)

製品区分	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	35,453	4.4
リビング製品	9,359	3.3
生活家電製品	1,394	△19.8
その他製品	958	19.7
合計	47,165	3.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。